

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報

事業コード			事務事業名 (予算事業名)	観光事務総務事業・施策7 (教育旅行)			
予算科目	会計	款	項	目			

計画 (Plan)

計画体系	基本計画	1	活力 産業が活性化し成長するまち	根拠	法令(国)	
	政策	1	観光需要と観光消費を拡大する		法令(県)	
	施策	7	スポーツ合宿や教育・研修旅行など団体旅行の営業拡大		市条例	
事業開始		平成30年度			その他	
目的・目標 (何のために)		教育旅行は、経済動向に左右されにくく、安定的、経済的な需要が見込めることから、積極的な誘致活動により観光誘客の拡大を図る。				
事務事業概要 (どのようなことを) …指標①		上天草市が教育旅行の訪問先として選んでいただけるように、プロモーション活動を行う。				
対象者 (誰に対して) …指標②		関西以西の中学校、高等学校関係者及び教育旅行を取り扱う旅行会社				
手段・実施方法 (どのようにするか)		熊本県及び天草教育旅行受入協議と連携し、学校関係者や旅行会社にプロモーション活動を行う。				
期待される (見込まれる) 成果 (効果) …指標③④		教育旅行は一定規模の団体による送客が見込めるため、高い経済効果が期待できる。				

実施 (Do)

	指標 / 年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
			(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	(予算)		
ハ指標 V	①	活動指標ア	単位	目標値	0	0	2	0	0
		教育旅行誘致のためのセールス活動	件	実績値	0	0	3	0	0
		活動指標イ	単位	目標値					
	②	対象指標ア	単位	目標値	0	0	258	0	0
		高等学校数 (大阪府内)	校	実績値	0	0	258	0	0
		対象指標イ	単位	目標値					
	③	成果指標ア	単位	目標値	0	0	4	5	0
		教育旅行誘致件数	件	実績値	0	0	2	0	0
		成果指標イ	単位	目標値					
	④	上位成果指標ア	単位	目標値	0	0	1,654	0	0
		観光入込客数	千人	実績値	0	0	1,631	0	0
		上位成果指標イ	単位	目標値					
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
			県支出金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円					
			一般財源	千円					
	事業費計(A)			千円	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従業者人数	人	0	0	1	0	0	
		延べ業務時間数	時間	0	0	40	0	0	
		人件費計(B)	千円	0	0	40	0	0	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	40	0	0	

事務事業名	観光事務総務事業・施策7（教育旅行）	部	経済振興部	課	観光おもてなし課	係	観光振興係
-------	--------------------	---	-------	---	----------	---	-------

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 多様な目的による宿泊客の拡大を図るため、教育旅行の誘致を推進する取組で、第2次総合計画に基づいた事業内容である。
	② 公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 宿泊客の増加により経済振興が図られることから公共性は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 九州方面への教育旅行を検討している学校関係者や旅行会社を対象とすることは妥当であり、教育旅行の誘致による宿泊客の増加により意図は達成される。
有効性 評価	④ 成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 熊本地震の影響により、教育旅行は震災前の水準まで回復していないが、徐々に回復の傾向にある。
	⑤ 廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 教育旅行は一定規模の団体での送客が期待できることから、廃止・休止の影響は大きい。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 観光プロモーション事業での連携を図ることで成果の向上が期待できる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 教育旅行に特化した事業費はないため、削減の余地はない。
	⑧ 人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 天草四郎観光協会と連携して教育旅行の誘致活動を行っており、業務時間の削減が図られており、これ以上削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 教育旅行の誘致による受益機会は市内の広い観光事業者にあり、これ以上の適正化の余地はない。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）

熊本地震の影響により、教育旅行の回復が遅れており、平成29年の教育旅行の誘致実績は2件であったが、今後の回復は見込めることから関係団体等と連携して継続的なプロモーションを展開していく。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入		成果	コスト		
天草教育旅行誘致協議会等と連携し、広域連携による教育旅行の誘致促進に取り組む。			削減	維持	増加
			向上	維持	低下

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策

教育旅行に対応した滞在プログラムの開発など専門的な知識が必要であることから、教育旅行を積極的に推進する人材育成を図る必要がある。

事務事業名	観光事務総務事業・施策4（観光ガイドや観光イベント等を実践する市民育成）	部	経済振興部	課	観光おもてなし課	係	観光振興係
-------	--------------------------------------	---	-------	---	----------	---	-------

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 観光ガイドの育成等、市民の観光への理解・関心を高め、イベントを実践する人材を育成する取り組みは、第2次総合計画に基づいた施策である。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 観光入込客の増加を図るものであるため、市全体に広く経済波及効果が見込める。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 質の高い観光サービスを提供委するためには、観光事業所はもとより市民全体で取り組む必要があるため。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 既存のガイド体制は、ガイド依頼が少なく、単価も安い。そのため、組織として脆弱であり、モチベーションが高いガイドもいない。そのため、多くのガイド依頼を受けれる仕組みづくりと質の高いサービスを提供できるような育成講座を実施し、稼げるガイド体制を目指し、持続可能な組織とガイドのモチベーションアップを図る。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 観光を基幹産業とする本市において、行政が観光の事務事業を廃止することは観光事業に携わるものだけでなく多くの市民に影響を与えるものと思われる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 広域で取り組む事業や熊本県、観光協会との連携により更なる事業効果が期待できる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 必要最低限の事業費で稼ぐガイドを目指すための新しい体制づくりを進行しているため、現在の事業費を削減する余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 業務のアウトソーシングや市民を巻き込んだ事業展開などにより業務時間の削減を目指した取り組みは継続中。新たな地方創生の取組みも推進しているため、これ以上の業務時間短縮は不可能。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 全市民を対象とした参加無料の事業である。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）

平成29年度は、本市で活動している観光ガイド団体をはじめ、アウトドアアクティビティに関するサイクリング愛好家、青年の家等を巻き込み、稼ぐガイドを目指すための講座や体制づくりに係る基礎調査等を実施した。平成30年度は、稼ぐ観光ガイドを実践するための仕組みづくりを行うとともに引き続きガイドの育成講座を実施し、観光ガイドが活躍できる体制を整え、観光ガイドの活用を推進する。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可	改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入			
現在事業の改革改善に取り組んでいるところ。この流れを今後も継続する必要がある。	成果	コスト	
	向上	削減	維持
	維持	維持	増加
	低下		

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策

観光協会や商工会等関係機関との情報共有を図り、さらなる効率的、効果的な取り組みの推進を図る。

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報

事業コード	391			事務事業名 (予算事業名)	美しい上天草市づくり推進事業 (観光施設維持管理費)			
予算科目	会計	1	款	40	項	10	目	20

計画 (Plan)

計画体系	基本計画	1	活力 産業が活性化し成長するまち	根拠	法令(国)	
	政策	1	観光需要と観光消費を拡大する		法令(県)	
	施策	1	ターゲットを設定した上天草ブランドの開発		市条例	
事業開始		平成17年度			その他	
目的・目標 (何のために)		観光地として美しい景観を形成する。				
事務事業概要 (どのようなことを) …指標①		国道沿線の花壇や観光施設等の除草作業や花の植栽等により、良好な景観の維持、美しい景観の創出を行いながら、観光地としてのイメージアップを図る。 また、市民や各種団体、事業所の参加と協力を促すことで、市民の景観美化に対する意識の向上を図る。				
対象者 (誰に対して) …指標②		花壇、公園				
手段・実施方法 (どのようにするか)		<ul style="list-style-type: none"> ・国道沿線の花壇整備管理業務委託 ・国道沿線の観光施設の美化管理業務委託 ・各種団体等への花苗配布他 				
期待される (見込まれる) 成果 (効果) …指標③④		観光地としてのイメージアップと地域づくりへの市民意識の向上				

実施 (Do)

指標 / 年度			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度			
			(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	(予算)			
ハ指標 V	①	活動指標ア	単位	目標値	80,000	80,000	80,000	80,000	0	
		花苗配布数	本	実績値	90,000	83,025	86,750	0	0	
		活動指標イ	単位	目標値	200	200	200	200	0	
		花苗配布団体数	グループ	実績値	199	202	205	0	0	
		②	対象指標ア	単位	目標値	33	33	33	33	0
			花壇、公園	箇所	実績値	33	33	33	0	0
	③	対象指標イ	単位	目標値	200	200	200	200	0	
		花苗配布団体数	グループ	実績値	199	202	205	0	0	
		成果指標ア	単位	目標値	200	200	200	200	0	
		花苗配布団体数	グループ	実績値	199	202	205	0	0	
		成果指標イ	単位	目標値	1,506	1,596	1,654	1,650	0	
		観光客入込数 (市全体)	千人	実績値	1,423	1,589	1,631	0	0	
④	上位成果指標ア	単位	目標値	1,506	1,596	1,654	1,650	0		
	観光客入込数 (市全体)	千人	実績値	1,423	1,589	1,631	0	0		
	上位成果指標イ	単位	目標値							
			実績値							
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	499	499				
			県支出金	千円	320	320				
			地方債	千円						
			その他	千円						
			一般財源	千円	11,376	12,507	13,802	14,629		
	事業費計(A)			千円	12,195	13,326	13,802	14,629	0	
	人件費	正規職員従業者人数	人	1	1	1	0	0		
		延べ業務時間数	時間	150	150	150	0	0		
		人件費計(B)	千円	600	600	600	0	0		
		トータルコスト(A)+(B)			千円	12,795	13,926	14,402	14,629	0

事務事業名	美しい上天草市づくり推進事業	部	経済振興部	課	観光おもてなし課	係	観光総務係
-------	----------------	---	-------	---	----------	---	-------

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 地域を花で飾ることは、市の施策の環境美化、観光振興に繋がる
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 公共の場において、花を絶やさず、あるいは花を飾ることで、主要観光地や国道沿線等の景観並びに観光客へのおもてなし向上に繋がることから、市が当該事業を行う必要性がある。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 市が設置した観光施設や公園、国道・市道沿線花壇に限定すべきである。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 育苗する花の種類及び効率的な育苗の仕方により、配布可能となる花の種類や数が増加する。場所の選定など、検討余地がある。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 主要観光施設、国道沿線沿いに花がなくなり、雑草等が生い茂ることで、環境美化にも悪影響が出て、上天草市を訪れる観光客にマイナスイメージを与える。花苗を楽しみに待っている地域団体の連帯感が薄れ活気がなくなる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）	理由
		<input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 類似事業がないため。
<input type="checkbox"/> 他に手段がない		理由	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 維持管理費は増加する傾向だが、四郎公園等の伸びすぎたヤシの木を低木に植え替えることで、一時的な費用は増すが、後年後の維持管理費を削減することができる。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 既に委託を実施しているところであり、現在、最も効率性の高い方法で実施している。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 受益者は全市民と観光客とらえている。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）

施設・花壇の維持管理、花の育苗及び苗配布については、概ね適切に管理され業務が遂行されていた。また、少しずつではあるが、配付する地域団体数も増え、市のイメージアップを図ることができた。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入		成果	コスト			
			削減	維持	増加	
公園や花壇の管理については、引き続き委託先であるシルバー人材センターに適切な指導を行いながら継続していく。四郎公園等のヤシの木については、倒木の危険性もあり引き続き撤去及び低木への植替えを推奨し、予算を要求していく。			向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
			維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策

天候次第で配付する本数が少なくなることや花の種類選別等、シルバー人材センターと対策を検討しながら進めていく。また、管理する花壇や観光施設等の景観の更なる向上のため、美しく見えるためのレイアウトの検討を行っていく。ヤシについては、高木ヤシを優先的に撤去し、四郎公園内の低木ヤシを移植することで将来的なコスト削減につなげていく。

事務事業名	九州自然歩道清掃管理事業	部	経済振興部	課	観光おもてなし課	係	観光総務係
-------	--------------	---	-------	---	----------	---	-------

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 トレッキング等を推進している本市において、九州自然歩道（観海アルプス）は重要な観光資源である。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 不特定多数の観光客が利用する観光資源の管理については観光振興の観点から、当然、公共が行うべきである。また、この事業の財源の一部は熊本県より委託の形でもたらされている。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 財源に合わせて、実施区域を設定してある。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 県の清掃管理委託費は、今後、削減の方向性のため向上余地が見込めない。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 九州自然歩道は、多くの登山客が利用しており、事業休止した場合は維持管理が出来なくなり、登山客等の減少につながり、最終的には観光客の減少にもつながる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）	理由
		<input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 類似事業がない。
<input type="checkbox"/> 他に手段がない		理由	
効率性 評価	⑦事業費の削除余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 現在の予算は、必要最小限の事業費であり、事業目的を達成するにあたり創意工夫して実施している。これ以上の削減は、サービス低下に直結する恐れがある。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 現在の業務は、必要最小限の業務量であり、事業目的を達成するにあたり創意工夫して実施している。これ以上の業務時間の削減は、サービス低下に直結する恐れがある。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 受益者を限定した事業ではない。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）
 29年度は清掃業務の委託先を見積り入札することで、予算の縮減に努めることができた。今後も必要な予算を確保するとともに、利用促進につながるよう維持管理を行う必要がある。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入		成果	コスト		
今後も利用者の利便性の向上及び安全の確保を図るため、引き続き事業を実施していく。			削減	維持	増加
			向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
 特に改革・改善はないが、県の今後の方針に注視しながら、事業を実施していく。

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報

事業コード	398			事務事業名 (予算事業名)	県有自然公園施設管理事業 (九州自然歩道及び県有自然公園施設清掃管理事業)			
予算科目	会計	1	款	40	項	10	目	20

計画 (Plan)

計画体系	基本計画	1	活力 産業が活性化し成長するまち	根拠	法令(国)	
	政策	1	観光需要と観光消費を拡大する		法令(県)	
	施策	1	ターゲットを設定した上天草ブランドの開発		市条例	
事業開始		平成17年度			その他	
目的・目標 (何のために)		県有自然公園施設を適切に管理し、利用者の満足度を高める。				
事務事業概要 (どのようなことを) …指標①		県有自然公園施設利用者の安全性、快適性を確保するための清掃、維持管理、景観及び利便性向上のための事業を行う。				
対象者 (誰に対して) …指標②		県有自然公園施設 (千歳山、高舞登、ビジターセンター)				
手段・実施方法 (どのようにするか)		作業員雇用による清掃維持管理、専門業者への整備委託、熊本県美化清掃協会事業への参画による清掃を行う。				
期待される (見込まれる) 成果 (効果) …指標③④		観光客の増加による観光産業の振興				

実施 (Do)

指標 / 年度			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
			(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	(予算)		
ハ指標 V	①	活動指標ア	単位	目標値	10	10	10	10	0
		清掃回数	回	実績値	10	10	10	0	0
		活動指標イ	単位	目標値					
				実績値					
	②	対象指標ア	単位	目標値	3	3	3	3	0
		公園	箇所	実績値	3	3	3	0	0
		対象指標イ	単位	目標値					
				実績値					
	③	成果指標ア	単位	目標値	46	46	46	46	0
		千歳山利用者数	千人	実績値	43	42	45	0	0
		成果指標イ	単位	目標値	32	32	32	32	0
				実績値	31	19	19	0	0
④	上位成果指標ア	単位	目標値	1,506	1,596	1,654	1,650	0	
	観光客入込数 (市全体)	千人	実績値	1,424	1,589	1,631	0	0	
	上位成果指標イ	単位	目標値						
			実績値						
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
			県支出金	千円	633	833	1,302	1,302	
			地方債	千円					
			その他	千円					
			一般財源	千円	4,528		418		
	事業費計(A)	千円	5,161	833	1,720	1,302	0		
	人件費	正規職員従業者人数	人	3	3	0	0	0	
延べ業務時間数		時間	770	0	0	0	0		
人件費計(B)		千円	3,080	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)			千円	8,241	833	1,720	1,302	0	

事務事業名	県有自然公園施設管理事業	部	経済振興部	課	観光おもてなし課	係	観光総務係
-------	--------------	---	-------	---	----------	---	-------

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 天草ビジターセンター、高舞登や千歳山展望所などの県有公園施設は本市の重要な観光資源である。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 不特定多数の観光客が利用する観光資源の管理については観光振興の観点から、当然、公共が行うべきである。また、この事業の財源の一部は熊本県より委託の形でもたらされている。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 財源に合わせて、実施区域を設定してある。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 雑木伐採など、委託費以上の投資を行うことで盛夏の候上は認められる。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 観光の最前線に位置する施設が多いため、活動休止に伴う荒廃は観光客減少に直接つながる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）	理由
		<input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由
<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		理由 類似事業がない。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 現在の予算は、必要最小限の事業費であり、事業目的を達成するにあたり創意工夫して実施しており、これ以上の削減はサービスに低下に直結する恐れがある。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 現在の業務は、必要最小限の業務量であり、事業目的を達成するにあたり創意工夫して実施している。これ以上の業務時間の削減は、サービス低下に直結する恐れがある。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 受益者を限定した事業ではない。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）

天草ビジターセンター及び松島展望休憩所については、白嶽湿地の昆虫展、ハクセンシオマネキや海ホテルの観察会等のイベントを継続して開催し、利用者の増加を図ったが、平成28年度並みの利用者に留まった。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入		成果	コスト			
県は、県有施設として継続所有すべきかの判断基準を策定し、市町村への移譲についても検討を行うこととしており、今後の動きに注視しながら事業を行っていく必要がある。			削減	維持	増加	
			向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策

施設の老朽化により修繕箇所が増えてきているが、施設の維持費が市と県との按分によることから、市が予算を確保しても県が予算を確保できない状況で修繕ができていない。県は、今後予算を縮減していく方針を検討しており、効果的な維持管理を行っていく必要がある。

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報									
事業コード	408			事務事業名 (予算事業名)	観光施設維持管理事業 (観光施設維持管理費)				
予算科目	会計	1	款	40	項	10	目	20	

計画 (Plan)										
計画体系	基本計画	1	活力 産業が活性化し成長するまち				根拠	法令(国)		
	政策	1	観光需要と観光消費を拡大する					法令(県)		
	施策	3	観光動線の利便性の向上による「快適さ」の確保					市条例	各観光施設設置条例	
	事業開始	平成17年度				その他		上天草市公有財産管理規則		
目的・目標 (何のために)	観光客のための快適な環境整備による満足度の向上									
事務事業概要 (どのようなことを) …指標①	市が管理する観光施設や公衆トイレ等の施設利用者の快適性、利便性確保のための維持管理と関係事業の実施。									
対象者 (誰に対して) …指標②	観光施設									
手段・実施方法 (どのようにするか)	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場は指定管理委託 ・海水浴場施設管理及び観光施設トイレ清掃は管理業務委託 									
期待される (見込まれる) 成果 (効果) …指標③④	観光客の増加による観光産業の振興									

実施 (Do)											
総投入量	事業費	財源内訳	指標 / 年度		平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算)	平成29年度 (決算)	平成30年度 (予算)	平成31年度 (予算)		
			①	活動指標ア トイレ清掃回数	単位	目標値	1,622	1,518	1,250	1,422	0
					回	実績値	1,622	1,518	1,650	0	0
				活動指標イ	単位	目標値					
						実績値					
			②	対象指標ア 公衆トイレの数	単位	目標値	12	12	11	11	0
					箇所	実績値	12	12	11	0	0
				対象指標イ キャンプ場施設数	単位	目標値	4	4	4	4	0
					箇所	実績値	4	4	4	0	0
			③	成果指標ア トイレ清掃回数	単位	目標値	1,622	1,518	1,250	1,422	0
					回	実績値	1,622	1,249	1,650	0	0
					単位	目標値	1,622	1,518	1,250	1,422	0
					回	実績値	1,622	1,249	1,650	0	0
			④	上位成果指標ア 観光客入込数 (市全体)	単位	目標値	1,506	1,596	1,654	1,650	0
					千人	実績値	1,424	1,589	1,631	0	0
単位	目標値										
			実績値								
事業費	財源内訳	国庫支出金		千円				3,120			
		県支出金		千円	830	1,500		1,302			
		地方債		千円	10,000	12,100		7,200			
		その他		千円	2,284	2,546	2,992	2,493			
		一般財源		千円	50,254	83,623	105,247	34,634			
		事業費計(A)		千円	63,368	99,769	120,239	64,749			
人件費	人件費	正規職員従業者人数		人	0	2	1	0			
		延べ業務時間数		時間	0	2,000	2,000	0			
		人件費計(B)		千円	0	8,000	8,000	0			
トータルコスト(A)+(B)		千円	63,368	107,769	128,239	64,749	0				

事務事業名	観光施設維持管理事業	部	経済振興部	課	観光おもてなし課	係	観光総務係
-------	------------	---	-------	---	----------	---	-------

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 観光施設を適正に維持管理し、常に快適な状況を保つことで、来訪者の満足度を高め、観光の入込客数の増加に繋げる。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 所管施設が市の財産であり、適正な維持管理を行う必要があるため。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 市が設置した観光施設であるため。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 隅々まで手が行き届く清掃作業に徹することで、上天草市の公衆トイレ＝清潔であるとのイメージアップを図り、来訪者の増加による観光産業等の収入増につなげる。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 今後、サイクリングなど全市をめぐる来訪者が増加する可能性もある中、市内各所のトイレの環境整備が衰退することは、当市のイメージダウンとなり、来訪者が減少すれば観光産業等の収入減につながる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 類似事業がない。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 施設の老朽化が激しく、維持管理費用は毎年増加していく。ただし、公共施設管理総合計画アクションプランに沿って施設廃止や民間移譲を進めることで、将来的な事業費の削減は可能。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 老朽化が著しい施設が多く、管理体制に費やす時間は増加するばかりである。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 市外からの来訪者、または、市民の不特定多数が利用するため、受益者を限定した事業ではない。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）

龍ヶ岳山頂、白嶽キャンプ場のバンガロー改修工事を行ったほか、各施設の維持補修、管理に努めた。各施設の老朽化が著しく、修繕も多数になっており、緊急度が高い施設から修繕している状況。また、観光トイレの修繕等では遅くなったケースもあったので、今後はさらに迅速な対応を心がける。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入	改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）																			
施設老朽化による維持管理費が増える一方で、インバウンドやサイクリングなどの多種多様な来訪者への対応が求められているため、今後は、廃止する施設の検討を行いながら、廃止した施設分の予算を効率的に活用していく必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>		コスト			削減	維持	増加	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			コスト																	
		削減	維持	増加																
向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																	
維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																	
低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																	

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策

将来的な維持管理費の軽減を図るためには、一時的に費用を投入する必要がある、市の財政状況としてそれができるかが課題。

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報									
事業コード	453			事務事業名 (予算事業名)	天草四郎メモリアルホール運営事業 (メモリアルホール管理事務事業)				
予算科目	会計	17	款	10	項	10	目	10	

計画 (Plan)										
計画体系	基本計画	1	活力 産業が活性化し成長するまち				根拠	法令(国)		
	政策	1	観光需要と観光消費を拡大する					法令(県)		
	施策	2	観光の目的地になるスポット整備・イベントの充実					市条例	天草四郎メモリアルホール設置条例	
事業開始		平成17年度				その他				
目的・目標 (何のために)		世界的に有名な天草四郎にちなんだキリシタン文化をPRする施設として観光客を誘客し、上天草市への観光入込客増加につなげる。								
事務事業概要 (どのようなことを) …指標①		天草のキリシタン文化や天草四郎、島原・天草一揆等の歴史等を紹介する天草四郎メモリアルホールの管理運営及び誘客促進のための情報発信、広告宣伝、関係事業を実施する。								
対象者 (誰に対して) …指標②		上天草市への観光誘客数 (九州全体)								
手段・実施方法 (どのようにするか)		施設の維持管理及び誘客のための情報発信、施設利用者の案内業務。(平成28年度利用者23,612人/年)								
期待される (見込まれる) 成果 (効果) …指標③④		キリシタン文化と島原・天草一揆の歴史を学びたい観光客の増加による観光産業の振興								

実施 (Do)										
指標 / 年度	ハ 指 標 V	①	活動指標ア	単位	目標値	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算)	平成29年度 (決算)	平成30年度 (予算)	平成31年度 (予算)
			入館者数	人	実績値	45,300	45,300	28,612	40,000	0
			活動指標イ	単位	目標値	26,377	22,759	22,862	27,389	0
			運営コスト	千円	実績値	18,965	21,140	19,549	0	0
			対象指標ア	単位	目標値	14,596	14,480	14,453	14,406	0
			上天草市への観光誘客数 (九州全体)	千人	実績値	1,432	1,589	1,632	0	0
			対象指標イ	単位	目標値					
					実績値					
			成果指標ア	単位	目標値	45,300	45,300	28,612	40,000	0
			入館者数	人	実績値	34,606	23,612	25,710	0	0
			成果指標イ	単位	目標値					
					実績値					
			上位成果指標ア	単位	目標値	1,506	1,596	1,590	1,633	0
			観光客入込数 (市全体)	千人	実績値	1,432	1,589	1,632	0	0
			上位成果指標イ	単位	目標値					
		実績値								
総 投 入 量	事業費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円						
			県支出金	千円						
			地方債	千円						
			その他	千円	18,965		13,302	23,295		
			一般財源	千円	6,337	21,140	6,247	4,094		
	事業費計(A)	千円	25,302	21,140	19,549	27,389	0			
	人 件 費	正規職員従業者人数	人	2	2	2	2	0		
延べ業務時間数		時間	368	368	368	368	0			
人件費計(B)		千円	1,472	1,472	1,472	1,472	0			
トータルコスト(A)+(B)			千円	26,774	22,612	21,021	28,861	0		

事務事業名	天草四郎メモリアルホール運営事業	部	経済振興部	課	観光おもてなし課	係	観光総務係
-------	------------------	---	-------	---	----------	---	-------

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 総合計画前期基本計画の観光の目的地となるスポット整備として取り組んでおり、施策に結び付いている。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 市（旧大矢野町）が建設した施設であり市の管理費必要。また公共の代表的観光施設として必要な施設である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 出来るだけ多くの観光客に訪れてただきたいため対象は限定しない。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 29年度に購入した新たな史料を効果的に展示したり、瞑想空間を活用することで盛夏工場が望める。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 これまでも重要な観光施設としての役割を担っており、廃止は上天草市の観光の衰退イメージにつながる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 上天草市内には類似の施設がない。
	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 指定管理制度へ移行することで、維持管理費の市の負担は削減できる。
効率性 評価	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 指定管理者制度を導入することで、担当者の業務時間は削減できる。
	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 受益者を限定した事業ではない。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）

施設については、長年の課題であった展示品のマンネリ化を解消するため、天草市有明町のサンタマリア館から約300点の貴重なキリシタン史料を購入し展示物の充実が図れた。来年度から展示を開始し、潜伏キリシタン関連の世界遺産登録と合わせ効果的な集客を目指す。またソフト面でも営業活動を強化し施設の魅力をしっかりと伝えていく。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入		成果	コスト			
			削減	維持	増加	
新たに購入した史料と、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」世界遺産登録を絶好の機会ととらえ、天草の玄関口としてまず訪れたい施設となるよう取り組んでいく。財源としても地方創生交付金を活用し、企画展の開催、瞑想空間活用、館内サインの多言語化などを進めていくとともに、指定管理制度の導入を目指す。			向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
			維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策

リニューアルした館の魅力を広めていくために館長をはじめとした営業に力を入れるとともに、効率的な情報発信に努める。また、指定管理者制度導入についても早期に導入で切るよう関係手を急ぐ。

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報

事業コード	901			事務事業名 (予算事業名)	天草四郎メモリアルホール基金事業 (天草四郎メモリアルホール基金事業)			
予算科目	会計	17	款	20	項	10	目	10

計画 (Plan)

計画体系	基本計画	1	活力 産業が活性化し成長するまち	根拠	法令(国)	
	政策	1	観光需要と観光消費を拡大する		法令(県)	
	施策	2	観光の目的地になるスポット整備・イベントの充実		市条例	天草四郎メモリアルホール基金条例
事業開始		平成17年度			その他	
目的・目標 (何のために)		【前年度内容】基金を改修費用に充てることで一般財源への負担の軽減化				
事務事業概要 (どのようなことを) …指標①		【前年度内容】天草四郎メモリアルホールの施設整備等に要する財源とするための基金。				
対象者 (誰に対して) …指標②		【前年度内容】天草四郎メモリアルホールの施設整備費用				
手段・実施方法 (どのようにするか)		【前年度内容】基金の積立				
期待される (見込まれる) 成果 (効果) …指標③④		【前年度内容】緊急の事業に対応する財源の確保				

実施 (Do)

	指標 / 年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
			(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	(予算)		
ハ指標 V	①	活動指標ア	単位	目標値	3	2	0	0	0
		新規基金積立額	千円	実績値	2	0	0	0	0
		活動指標イ	単位	目標値					
				実績値					
	②	対象指標ア	単位	目標値	2,906	0	0	0	0
		施設整備目標額	千円	実績値	0	0	0	0	0
		対象指標イ	単位	目標値					
				実績値					
	③	成果指標ア	単位	目標値	2,908	2,910	0	0	0
		基金残高	千円	実績値	2,908	0	0	0	0
	成果指標イ	単位	目標値						
			実績値						
④	上位成果指標ア	単位	目標値						
			実績値						
	上位成果指標イ	単位	目標値						
			実績値						
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
			県支出金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円	2				
			一般財源	千円					
	事業費計(A)			千円	2	0	0	0	0
	人件費	正規職員従業者人数	人	0	1	0	0	0	
延べ業務時間数		時間	0	0	0	0	0		
人件費計(B)		千円	0	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)			千円	2	0	0	0		

事務事業名	天草四郎メモリアルホール基金事業	部	経済振興部	課	観光おもてなし課	係	観光総務係
-------	------------------	---	-------	---	----------	---	-------

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 上天草市の貴重な観光資源である天草四郎メモリアルホールの施設整備に要する経費の財源に充てるための重要な基金である。
	② 公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 公の施設である天草四郎メモリアルホールの基金である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 公の施設である天草四郎メモリアルホールの基金であり、対象は限定されている。
有効性 評価	④ 成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 基金の積立額は、メモリアルホール特別会計の収益により毎年度予算で定めるため、天草四郎メモリアルホールの増益となる運営により向上を図ることができる。
	⑤ 廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 平成28年度に大規模な映像機器等の改修を行ったため、基金を全額改修費に充てた。天草四郎メモリアルホールについては、今後も施設の老朽化に伴う大規模な修繕等が予想されるため、施設の不具合については常に気を配り、館の魅力低下や事故等につながらないよう適切な財源の確保に勤める必要がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）	理由 老朽化が進む天草四郎メモリアルホールの改修リストを作成し、適宜予算計上を行う必要がある。
		<input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由
<input type="checkbox"/> 他に手段がない		理由	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 平成28年度に映像機器等の大規模改修を行った際に基金を全額改修費に充てた。
	⑧ 人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 残額が無くなったため、事務も無くなった。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 平成28年度に基金を全額改修費に充てた。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）	平成28年度に基金全額を施設改修費に充てた。
----------------	------------------------

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可	改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）																		
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																
	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																
【前年度内容】平成28年度に施設改修等の費用に充てるため基金を活用し、残額が0円となった。																			

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策	<p>【前年度内容】 今後、指定管理者制度への移行も進める中で、劣化した部分は適宜修繕する必要があるが、入館者が年々減少し単年度収支は、赤字であることから、修繕に必要な十分な予算が確保できるか課題である。</p> <p>平成30年夏の崎津集落の世界遺産登録の好機に合わせ、魅力向上を図り入館者増につなげ、収支のバランスを安定させたい。</p>
-------------------------------	---

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報							
事業コード	387		事務事業名 (予算事業名)	観光事務総務事業・施策5（観光商品・サービス開発）			
予算科目	会計	款	項	目			

計画 (Plan)							
計画体系	基本計画	1	活力 産業が活性化し成長するまち	根拠	法令(国)		
	政策	1	観光需要と観光消費を拡大する		法令(県)		
	施策	5	消費を拡大する観光商品・サービスの開発		市条例		
	事業開始	平成17年度			その他		
目的・目標（何のために）	地域資源を活用し、産業の活性化を図り、観光需要と観光消費を拡大させるため。						
事務事業概要（どのようなことを）	地元の食材や料理を提供する物販イベントを定期的に開催する。						
対象者（誰に対して）	熊本県内及び福岡都市圏を中心とした九州管内の消費者。						
手段・実施方法（どのようにするか）	天草四郎観光協会や上天草商工会と連携した天草海風マルシェ等の開催。						
期待される（見込まれる）成果（効果）	観光入込客増加及びそれに伴う観光産業の振興。						
…指標③④							

実施 (Do)				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
指標 / 年度				(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	(予算)	
指標 ∨	①	活動指標ア	単位	目標値	2	3	4	5	0
		マルシェを活用したイベントの開催回数	回	実績値	2	5	3	0	0
		活動指標イ	単位	目標値					
				実績値					
		対象指標ア	単位	目標値	14,450	14,473	14,359	0	0
		九州管内の消費者	千人	実績値	14,450	14,473	14,359	0	0
	対象指標イ	単位	目標値						
			実績値						
	成果指標ア	単位	目標値	30	40	0	0	0	
	出店者数（のべ）	店舗	実績値	33	40	47	0	0	
	成果指標イ	単位	目標値	34	36	38	40	0	
	イベント集客数	千人	実績値	50	67	32	0	0	
上位成果指標ア	単位	目標値	1,506	1,580	1,654	1,728	0		
④ 観光入込客数	千人	実績値	1,423	1,589	1,631	0	0		
上位成果指標イ	単位	目標値							
		実績値							
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	1,950				
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	1,484	60,784	45,600	52,600		
		一般財源	千円	24,043					
	事業費計(A)	千円	27,477	60,784	45,600	52,600	0		
	人件費	正規職員従業者人数	人	3	3	3	0	0	
	延べ業務時間数	時間	720	720	720	0	0		
	人件費計(B)	千円	2,880	2,880	2,160	0	0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	30,357	63,664	47,760	52,600	0		

事務事業名	観光事務総務事業・施策5（観光商品・サービス開発）	部	経済振興部	課	観光おもてなし課	係	観光振興係
-------	---------------------------	---	-------	---	----------	---	-------

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 物販イベント等による観光消費を拡大させるための取り組みで、第2次総合計画に基づいた事業内容である。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 物産イベントを通じて、観光入込客の増加を図るものであるため、市全体に広く波及効果が見込める。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 観光客向けのイベント開催により、交流人口の拡大による地域経済の活性化が図られるため、対象は妥当である。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 イベントの訴求力を高めることで、集客力も高まり、観光消費額の拡大に繋がる。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 観光を基幹産業とする本市において、行政が観光の事務2業を中止することは観光事業に携わるものだけでなく多くの市民に影響を与えるものと思われる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）	理由
		<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 観光協会や商工会が主体的に実施することで、より専門的、効率的に実施できる。
<input type="checkbox"/> 他に手段がない		理由	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 イベントに人を集めるためには、ある程度の予算が必要となりこれ以上の事業費削減は困難。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 事業の一部を観光協会や商工会の事業と統廃合することにより削減が可能となる。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 多くの市民が参加可能なイベントである。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）

例年実施されている天草五橋祭、上天草とれたて市場に加え、ONSEN・ガストロノミーウォーキングという新規事業にも取り組み、告知等を含め上天草市の魅力を効果的にPRすることができた。今後も効率的かつ継続的に本市への誘客促進につながる取組が必要である。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可	改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入	成果	コスト		
本事業の多くは、観光協会や商工会の事業に段階的に統廃合する方が望ましい。		削減	維持	増加
		向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策

事業統合の場合は事業分の費用を補助金の増額などで支援する必要がある。また費用以外にも観光協会や商工会のマンパワー不足も解決する必要がある。事業内容を精査し、必要な事業のみさらなるブラッシュアップを行い、実行委員会等に任せられるものは移行していく。

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報							
事業コード	1145		事務事業名 (予算事業名)	観光事務総務事業・施策7 (スポーツ合宿・教育旅行)			
予算科目	会計	款	項	目			

計画 (Plan)								
計画体系	基本計画	1	活力 産業が活性化し成長するまち			根拠	法令(国)	
	政策	1	観光需要と観光消費を拡大する				法令(県)	
	施策	7	スポーツ合宿や教育・研修旅行など団体旅行の営業拡大				市条例	
事業開始		平成17年度				その他		
目的・目標 (何のために)		教育旅行は、経済動向に左右されにくく、安定的、計画的な需要が見込めることから、積極的な誘致により入込客の増加につなげる。						
事務事業概要 (どのようなことを) …指標①		教育旅行の誘致のためのセールス活動						
対象者 (誰に対して) …指標②		教育旅行：主に関西以西の中、高等学校及び教育旅行を取り扱う旅行会社						
手段・実施方法 (どのようにするか)		教育旅行：教育旅行受入協議会と連携した教育旅行誘致の促進						
期待される (見込まれる) 成果 (効果) …指標③④		一定規模の団体となる教育旅行の誘致により、高い経済効果が見込める。						

実施 (Do)								
指標 / 年度 ① ② ③ ④ 総投入量	指標 / 年度			平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算)	平成29年度 (決算)	平成30年度 (予算)	平成31年度 (予算)
	活動指標ア	単位	目標値					
			実績値					
	活動指標イ	単位	目標値					
			実績値					
	対象指標ア 補助金申請数	単位	目標値	36	42	46	0	0
			実績値	65	59	0	0	0
	対象指標イ	単位	目標値					
			実績値					
	成果指標ア 観光客入込数 (市全体)	単位	目標値	1,506	1,580	1,654	0	0
			実績値	1,423	1,589	0	0	0
	成果指標イ のべ助成者数	単位	目標値	1,800	3,000	0	0	0
			実績値	4,046	3,874	0	0	0
	上位成果指標ア	単位	目標値					
			実績値					
上位成果指標イ	単位	目標値						
		実績値						
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	1,700				
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	1,978	3,358			
事業費計(A)			千円	3,678	3,358	0	0	
人件費	正規職員従業者人数	人	1	1	0	0	0	
		延べ業務時間数	時間	144	140	0	0	
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)			千円	3,678	3,358	0	0	

事務事業名	観光事務総務事業・施策7 (スポーツ合宿・教育旅行)	部	経済振興部	課	観光おもてなし課	係	観光振興係
-------	----------------------------	---	-------	---	----------	---	-------

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 【前年度内容】多様な目的による宿泊客の増大を図るためスポーツ合宿及び教育旅行の誘致を推進する取り組みで、第2次総合計画に基づいた事業内容である。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共 (妥当である)	理由 【前年度内容】宿泊業関係者の閑散期・誘客促進対策として広く経済振興につながるため市が関与することは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 【前年度内容】スポーツ合宿の誘致については、中学生～大学生までの実施団体を、教育旅行の誘致については、教育旅行を実施しようとする関西以西の小学校～高校を対象とするということで妥当であると考え。また、閑散期の宿泊客の増加に貢献しており、意図は達成されている。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 【前年度内容】スポーツ合宿の誘致については、助成金を利用した合宿実施団体の多くが高校生の団体のため、客単価が高い大学生の合宿誘致割合を増やすことで、経済効果は更に高まる。また、教育旅行については、熊本地震で遠のいていた修学旅行生が徐々に戻ってきており、今後の回復が期待できる。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止 (影響あり) <input type="checkbox"/> 廃止・休止 (影響なし)	理由 【前年度内容】閑散期等の有効な対策であり、廃止・休止の影響は大きい。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 【前年度内容】体育施設の利用促進を行っている社会教育課と連携することで、合宿実施団体の利便性が高まり、合宿誘致の増加につながる。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 【前年度内容】スポーツ合宿誘致助成金については、他地域の補助金と比較しても、低い助成率で高い経済効果が見込まれ、本市の助成制度を活用した合宿についての認知度も高まっており、新規の利用団体も増えている。
	⑧人件費 (延べ業務時間) の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 【前年度内容】スポーツ合宿誘致助成金の交付事務作業が膨大であるため、事務処理の方法の改善により業務時間の短縮が可能となる。(大会主催者による一括申請など)
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 【前年度内容】スポーツ合宿誘致助成金は、合宿を決定する際の呼び水的な助成金であり、必要最低限の助成額で、高い効果が見込まれるため、費用負担は適正である。

評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

全体総括 (振り返り、反省点)

【前年度内容】平成28年は熊本地震の影響もあり、助成金の利用団体数は前年度と比較し多少減少したものの、合宿誘致は閑散期の観光対策として効果が高いことから、今年度についても、積極的なPRを行うことで、合宿誘致の増加につなげたい。また、平成29年度から本事業は社会教育課に移管されるが、更なる事業効率化を目指し連携を図っていく。

今後の事業の方向性 (改革・改善案)・・・複数選択可	改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善)	コスト		
<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善)			
<input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) ※方向性を以下に記入	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
【前年度内容】スポーツ合宿誘致事業については、今年度から社会教育課に移管することとするが、今後も連携して合宿誘致についてのプロモーション等を連携して取り組む。教育旅行の誘致については、天草教育旅行誘致協議会等と連携し、広域連携による誘致促進に取り組む。	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題 (壁) とその解決策

【前年度内容】教育旅行の誘致については、教育旅行プログラムの開発や学校関係者や旅行関係者へのプロモーションなど専門的な知識が必要であることから、教育旅行を積極的に推進する人材の育成を図る必要がある。

事務事業名	観光事務総務事業・施策1 (PR・キャンペーン)	部	経済振興部	課	観光おもてなし課	係	観光振興係
-------	--------------------------	---	-------	---	----------	---	-------

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 観光ブランドイメージ形成による情報発信は、第2次総合計画に基づいた整合性がある取組である。
	② 公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共 (妥当である)	理由 観光客に選ばれる観光地として市のイメージアップを図ることは重要であることから行政が積極的に関与する必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 熊本県内、福岡都市圏及び関東、関西がメインの対象地域ではあるものの、他地域を排除した訳でないため、妥当である。
有効性 評価	④ 成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 30年度に策定する観光ブランディング計画に沿って統一的なイメージ発信を行うことで成果を向上させることができる。
	⑤ 廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止 (影響あり) <input type="checkbox"/> 廃止・休止 (影響なし)	理由 観光が基幹産業の1つである本市において、継続的かつ積極的な観光PRを展開する必要があり、休止した場合、観光振興への影響がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 観光PRは、そのテーマや手段、切り口などにより統廃合、連携が可能と考えられる。現在、適宜、効率性を考慮し、実施しているが、今後においても内容を精査し、統廃合、連携を図っていく。
		<input type="checkbox"/> 他に手段がない	理由
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 市の最重点施策として積極的な事業展開を行っているが、本市の観光振興に必要な事業内容であることから、削減の余地なし。
	⑧ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 国の地方創生推進交付金事業等による観光事業の拡大により、事務量は増加しており、人件費の削減余地は考えられない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 市全体を受益の対象とした事業を展開している。また、受益者が限定される場合、市のホームページや広報紙、観光協会との連携などにより、広く公募するなどし、適切な処理を行っているため、適正である。

評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

全体総括 (振り返り、反省点)

これまでのプロモーションの効果もあり、観光入込客は、前年比2.6%増となった。効率性において最大限の効果を得るためには、現況以上の人員が必要となる。また、地方創生交付金事業など年度途中からの事業追加は、予測が困難なため、スクラップアンドビルドを念頭に入れながら、予算要求を行う必要がある。

今後の事業の方向性 (改革・改善案)・・・複数選択可	改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) ※方向性を以下に記入	成果	コスト			
今後のプロモーションの指針となるブランディング計画を策定し、市民と行政が一体となってプロモーションを進める必要がある。		向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題 (壁) とその解決策

観光協会や商工会など関連団体や庁内他課との連携を図り、平成30年度に策定する観光ブランディング計画に基づき、効率的かつ効果的なプロモーションを展開することで、事務量の削減を図る。

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報

事業コード				事務事業名 (予算事業名)	観光事務総務事業・施策6 (ツーリズム・着地型プログラム)		
予算科目	会計	款	項	目			

計画 (Plan)

計画体系	基本計画	1	活力 産業が活性化し成長するまち	根拠	法令(国)	
	政策	1	観光需要と観光消費を拡大する		法令(県)	
	施策	6	プラスαの滞在型観光商品の開発		市条例	
事業開始		平成28年度			その他	
目的・目標 (何のために)		様々な旅行者のニーズに応えるため、体験型観光プログラムの推進を図り、旅行者の滞在時間を伸ばすことで、域内での消費行動を喚起することを目的とする。				
事務事業概要 (どのようなことを) …指標①		上天草市の地域資源を活用した体験型観光プログラムを観光事業者等と連携し開発する。				
対象者 (誰に対して) …指標②		体験型観光を旅行の目的としている消費者				
手段・実施方法 (どのようにするか)		市民や観光事業者等とのワークショップを通して地域資源の磨き上げを行いながら体験型観光プログラムの開発に取り組む。				
期待される (見込まれる) 成果 (効果) …指標③④		地元暮らしに暮らす多くの方が観光の振興に関わることで、観光振興を自分ゴトとして考え、地域全体で観光振興を図り、地域経済の活性化が図られる。				

実施 (Do)

	指標 / 年度			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
				(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	(予算)	
△ 指標 ▽	①	活動指標ア	単位	目標値	245,000	245,000	245,000	0	0
		宿泊者数	人	実績値	245,787	297,243	239,835	0	0
		活動指標イ	単位	目標値					
				実績値					
	②	対象指標ア	単位	目標値					
				実績値					
		対象指標イ	単位	目標値					
					実績値				
	③	成果指標ア	単位	目標値					
				実績値					
		成果指標イ	単位	目標値					
					実績値				
④	上位成果指標ア	単位	目標値						
			実績値						
	上位成果指標イ	単位	目標値						
				実績値					
総 投 入 量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	4,350				
			県支出金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円				29,899	
			一般財源	千円	5,789	11,427	13,837		
	事業費計(A)			千円	10,139	11,427	13,837	29,899	0
	人件費	正規職員従業者人数	人	3	3	5	0	0	
延べ業務時間数		時間	720	720	1,552	0	0		
人件費計(B)		千円	2,880	2,880	6,208	0	0		
トータルコスト(A)+(B)			千円	13,019	14,307	20,045	29,899	0	

事務事業名	観光事務総務事業・施策6（ツーリズム・着地型プログラム）	部	経済振興部	課	観光おもてなし課	係	観光振興係
-------	------------------------------	---	-------	---	----------	---	-------

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 旅行目的が多様化する中で、その地域でしかできない体験型観光のニーズが高まっており、本市の観光資源を活かした観光プログラムの開発による誘客の拡大は、第2次総合計画に基づいた施策である。
	② 公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 地域資源を活用した滞在型観光を推進するための取り組みであり、観光客の増加により経済振興が図られることから公共性は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 誘客を目的とした事業であり、本市に訪れていただきたい観光客を対象とすることは妥当であり、誘客の拡大により意図は達成される。
有効性 評価	④ 成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 数ある地域資源を見直し、集客力がある観光商品となりうる観光資源としての磨き上げを行っているため、成果の向上を意識しながら継続的に事業を実施していく必要がある。
	⑤ 廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 体験型観光のニーズが高まっており、こうしたニーズを受け止めるための取り組みを廃止することは、新たな観光客の取り込みを逃すこととなるため、観光振興への影響が大きい。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法は？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 観光振興事業は他の多くの事業に関連しているため、目的や手法を精査し、統廃合、連携の可能性を検討する必要がある。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 事業効果が最大限に図れる事業を選定して実施しており、事業費の削減により想定した事業効果が見込めないため事業の削減はできない。
	⑧ 人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 現在、専門性が高い事業については委託を行っているが、業務時間削減のため、職員同士で業務量の調整をしながら効果的に業務を遂行する必要がある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 受益機会、費用負担などについても公益性を鑑み実施しているため、これ以上の適正化の余地なし。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）
観光客の滞在時間を増やすため地域と連携し体験型観光プログラムの造成に取り組んだが、集客力がある旅行商品にするためには、更なる素材の磨き上げや受け入れ態勢の整備が必要であることから、今後も予算を計上し継続的に事業を実施していく。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可	改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）																				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
マーケティング等により観光客のニーズやターゲットを明確にし、体験型観光プログラムの造成に取り組む。																					

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
成果を高めるためには、ある程度の事務量が必要であるため、人員確保はもちろんのこと、地域や他課との連携及び地域で体験型観光プログラムを積極的に推進する人材の育成を図っていく必要がある。